

～保護者の皆さまと
学科をつなぐ
ほっとライン～

しまなみだより



第3号 2014年10月発行

～2014年後期が始まりました～

金風の候、ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。平素より本学の教育にご理解とご協力を頂きありがとうございます。平成26年8月20日に広島市でおこった集中豪雨・土砂災害により被害に遭われた皆様に心よりお見舞い申し上げます。9月に入り3年生と1年生はさっそく臨地実習が始まり、後期の講義、演習がスタートしました。11月には大学祭があります。忙しい講義・実習の合間に大学祭の準備を進めています。大学生生活を楽しみ、充実した時間を過ごしながらも、看護学についてより学びを深めてもらえたらと思います。
看護学科広報係

2014年オリエンテーションセミナーを行いました！

2014年5月16日晴天の下、三原キャンパス5学科の新入生を対象にオリエンテーションセミナーが実施されました。三原キャンパスを貸切バスで出発し、会場のグリーンピアせとうち(呉市安浦町)までの車中、先輩である自治会学生が企画したレクリエーションにより早くも盛り上がっていました。午前中は県警所属の女性警察官より防犯講習を受け、護身術も各自体験しました。昼食は小グループに分かれてのバーベキューでしたが、新しくできた仲間と楽しいひと時を過ごしました。その後、芝生エリアで自治会主催のゲームやクイズで身体を動かし、グループごとに一致団結し大いに盛り上がりました。今後の学生生活を一緒に過ごす先輩や仲間と楽しいひと時を過ごしました。(石原克秀)



参加した教員と
看護学科1年次生全員と集合写真！！

県立広島大学
Prefectural University of Hiroshima

2014年オープンキャンパスで学生が発表をしました！

2014年8月4日、オープンキャンパスで在学生による学生生活プレゼンテーションが初めての試みで行われました。1～4年生、各学年の在学生13名が高校生、保護者に向けて座談会の形式で行いました。会場には用意していた60席が満席となり、急遽椅子を増やし、80人程度の高校生、保護者が参加して下さいました。

在学生は参加者の人数の多さに緊張しながらも、4年生が司会を務め、楽しく、講義の様子や実習での学びを紹介していました。また、大学に入学してからの仲間作りのコツや、クラスメートとのつながりが4年の間で深まるうれしさについても話していました。そして、会場から「高校の成績(評定平均値)がどれくらい必要なのか」という質問があり、戸惑いながらも在学生1人1人が自分の成績を紹介し、受験対策を伝えていました。このプレゼンテーションで高校生、保護者の方が大学生生活を具体的にイメージして当校を受験校として選んで欲しいと願っています。(永井庸史)



参加した高校生は発表の様子を
熱心に聞いていました。

新カリキュラムの講義が 始まりました

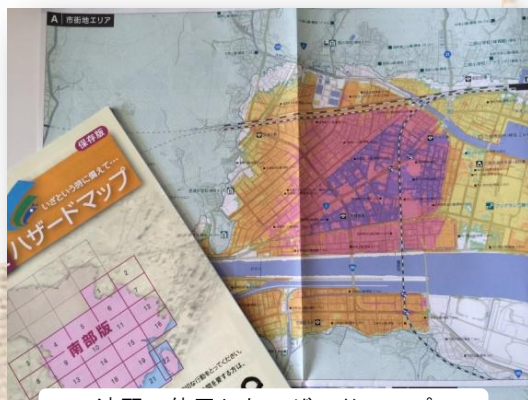
平成 26 年度より新カリキュラムとなり、開講された科目の中から、今回は「災害看護」「統合実習」を紹介します。

災害看護

今年度から 3 年生を対象に「災害看護」という科目が始まりました。この科目では、自然災害など危機的状況下での看護支援を理解するための基礎知識を学びます。東日本大震災で被災した看護学生の手記を使ったグループワークの他、防災意識を高め具体的な取り組みについて考える「災害図上訓練」、災害時に遭遇する困った事象についてどう行動するかを考える「クロスロードゲーム」、災害時に開設される避難所で起こる様々な問題への対処方法を考えながら、避難所運営のあり方を学ぶ「避難所運営ゲーム」のように様々な形式でグループワークを行いました。その他、県病院の DMAT(災害派遣医療チーム)に所属する看護師からトリアージの実際などを学びました。

今年、広島県で大きな土砂災害が発生し、多くの人の生命が失われるという悲しい出来事がありました。そのような中で救われた命を繋いでいくために、自分にできることを考えられる看護師になって欲しいと願っています。

(山中道代)



演習で使用したハザードマップ

統合実習

看護学科 3 年生は 9 月 8 日から 9 月 12 日の 5 日間統合実習を行いました。統合実習は 3 年前期までに学んだ知識と技術、態度を統合し、患者中心の専門的な看護を実践するために、チーム医療の中で多様な状況を判断し対応するための思考プロセスを学ぶための実習です。多重課題に関するグループワークを学内で行い、自らの学習課題を明確に病棟での実習に臨みました。臨地での実習は看護管理者やチームリーダー、患者の受け持ち看護師らの実践内容を朝の申し送りから夕方の申し送りまで、フィールドワーク形式で学ぶ、初めての試みを取り入れました。最終日の学内演習ではグループを変え、臨地での学びについて振り返りを行いました。3 日間の臨地実習では、臨地実習指導担当者に直接多くのご指導いただき、学生は看護師の学びを深めることができました。

(岡田麻里)



臨地でのグループワークの成果物。



臨床指導担当者が参加しての
臨地での学びの振り返りの様子。

保健師選択課程の講義が 始まりました

保健師をめざす学生の皆さまへ

26年度前期より保健師選択課程の講義（公衆衛生看護活動論，家族保健指導論等）が始まりました。保健師とは，保健所や保健センター，企業において，個人または集団の疾病の予防，健康の維持・増進を目指した活動を行う公衆衛生看護の専門職です。3年生より始まる保健師課程の講義の必修単位と卒業要件を満たす単位を取得することによって，看護師・保健師二つの国家試験を受験できます。保健師への興味・関心及び学習意欲ある学生さんを待っています。（佐藤公子）



保健師選択課程講義で
騒音をはかる演習の様子です。



第1期の保健師選択課程講義の受講メンバーで
集合写真を撮りました。



教員の紹介 学科の名物教員をご紹介します！



岡光京子教授

成人看護学担当の教員の岡光京子です。私は，学部では成人看護学と大学院ではがん看護学に関する科目を担当しています。特に，1年生の後期からはじまる成人看護学概論は，いわゆる大人を対象とした看護学で成人看護学の基礎になる重要な科目です。この時期，内容は難しいと思いますが，学生の皆さんは瞳をきらきらさせて真剣に講義に取り組まれています。このような学生の皆さんの輝きを絶やさないように，私も奮闘努力をしている毎日です。

私が日頃から心がけていることの一つに，「オンとオフの切り替え」があります。オフモードでは，音楽を聴いたり自然（景色）にふれることで，リラックスしています。音楽は，リストやメンデルスゾーンの曲をよく聴きます。また，自然（景色）にふれることは，キャンパス内でもいろいろと楽しんでます。私のお気に入り，構内に茂る木々と瀬戸大橋まで見渡せる景色で，とても癒されます。このような穏やかな環境の中で，仕事ができることに日々感謝しています。

学生さん いらっしゃ〜い!

今回、私は、3日間の統合実習で1日目に師長、2日目にリーダー、3日目に“フリー”のナースの動きを見せてもらいました。8時から16時まで複合的な業務をどのような優先順位で判断し、動いているのか、見学し説明してもらいました。

病棟師長、リーダーナースは、病棟全体の動きを把握し、ナース同士の連携だけでなく、ナースと医師の連携も調整していました。“フリー”のナースは受け持ちのナースとして患者にかかわらず、多くの患者の清拭などを行い、スタッフナースのフォローをする役割でした。“フリー”のナースが業務的にケアをこなさないように心がけていると話して下さったことが印象的でした。3日間を通してどの役割のナースも他のスタッフが働きやすいように配慮しており、このことは病棟全体の患者への看護を円滑にするためにとても大切であることを実感しました。

病棟で働く看護師がどのようなことを考えて、動いているのか今回の実習でイメージできたので、これからの各論実習に繋げていきたいと思っています。



3年藤林大三郎さん

統合実習を終えた日の写真です。

〜卒業生 頑張っています!〜



平成23年度卒業生
金城芽里さん
聖路加国際病院 看護師

私は現在、脳外科病棟で看護師として働いています。この病棟には脳卒中で搬送され、麻痺や失語を生じリハビリテーションを行っている患者さんが多くいらっしゃいます。脳卒中は救命されても障害が残ることがおおく、患者さんは障害とともに生活していかなければなりません。そんな患者さんの看護に携わるにあたり県立広島大学で学んだチーム医療の重要性を実感しました。看護師の力だけでは解決できない問題を医師、リハビリテーション療法士、社会福祉士など他職種と協力し、患者さんのQOL向上に努めています。

今後も急性期病院における患者さんの状態の観察だけでなく、患者さんが地域に帰り、その人らしい生活ができるように看護師としてサポートをしていきたいと思っています。

看護学科「学生生活通信」について ご意見、ご感想などお寄せ下さい。
〒723-0053 広島県三原市学園町1-1 TEL 0848-60-1120(代表)
FAX:0848-60-1134(代表) E-mail : nskouhou@pu-hiroshima.ac.jp
発行: 県立広島大学保健福祉学部看護学科 広報係



三原キャンパスから見えるしまなみの風景です。